

愛媛県出資法人点検評価部会 平成 22 年度第 2 回部会 議事概要

日 時	平成 23 年 2 月 1 日 (火) 13:30 ~ 15:15
場 所	県議会議事堂 4 階 環境保健福祉委員会室
出 席 者	
〔委 員〕	武士末部会長、岡本委員、黒田委員、妹尾委員、松本委員 (5 名)
〔事 務 局〕	総務部長、新行政推進局長、 行政システム改革課長、同課長補佐 ほか

《 開 会 》

・ 部会長あいさつ

・ 議 事

(1) 平成 22 年度 2 次評価結果について

【武士末部会長】

それでは、議事に入ります。

点検評価最終年度となる平成 22 年度の 2 次評価につきまして、各法人の 2 次評価について審議を行い、次に全体的な取りまとめとなります「出資法人改革プランに基づく改革の総括」の審議を行い、部会として点検評価を決定したいと思います。

では、まず「資料 1」各法人の 2 次評価の審議を行います。

この評価案につきましては、各法人が行いました 1 次評価結果の確認などを通じて、皆さん方と協議して参りましたことを踏まえ、取りまとめたものであります。

説明は事務局にお願いしたいと思います。

それではまず、見直しの方向性が「統合」の 3 法人について、事務局から説明をお願いします。

< 見直しの方向性が「統合」の 3 法人について >

((社)愛媛県園芸振興基金協会、(財)愛媛県水産振興基金、(財)愛媛県栽培漁業基金)
資料 1 により、事務局から説明

【武士末部会長】

ただ今説明いただいた 3 法人につきまして、何かご意見等はございませんでしょうか

か。

水産振興基金は、事務局を1人の体制でやっているとのことですが、こういうこと自体、公益法人として十分機能しているのか、内部のチェック機能も到底果たせないと思ってしまうのですが、妹尾委員どうでしょうか。

【妹尾委員】

おっしゃるとおり、非常勤の事務局長1人で全てを賄うというのはいかがなものかと思えます。関係する他の法人とのさらなる統合というのはいかなるのでしょうか。

【武士末部会長】

今後も、第三セクターの問題等で議論することがあるのではないかと思います。出資法人の中に、1人体制で、ましてや非常勤で対応している法人があること自体、県もどう考えても説明ができません。今後、そういう団体があるようでしたら、当然廃止、統合ということで考えられたらと思いますし、妹尾委員がおっしゃったような、さらなる法人同士の統合についてもご考慮いただき、今後の取組みに生かしていただければと思います。

次に、見直しの方向性が「経営環境を踏まえた見直し」の12法人について説明をお願いします。

<見直しの方向性が「経営環境を踏まえた見直し」の12法人について>

(愛媛県土地開発公社、愛媛県住宅供給公社、(財)愛媛県埋蔵文化財調査センター、(財)えひめ女性財団、(社福)愛媛県社会福祉事業団、愛媛エフ・イー・ゼット(株))

資料1により、事務局から説明

【武士末部会長】

資料のチャート図ですが、網かけがかかっているのが各法人の1次評価で、我々の2次評価については、太い線で示しています。それが内側に寄っているということは、我々の方が厳しく評価しているということです。

1次評価では各項目の評価に満点が結構あり、本当だろうかというご意見もありましたが、岡本委員どうでしょうか。

【岡本委員】

1次評価が高いというのは、目標設定が甘いか、自らに対する評価が甘いか、あるいはその両方ということです。本当は取組みが必要なところなのに、1次評価が高いというのは問題が大きいです。なぜ2次評価が低くなるのかというところを、各法人にはぜひ認識していただきたいと思えます。

【武士末部会長】

そうですね。そういう観点で各委員の皆さんにも見ていただいていたと思います。

その他の法人について、何かご意見ございませんか。

【松本委員】

最初の頃から思うと、それぞれの法人の方も、経営とは何かということを考えてい

ただいて、きちんと取り組んでいただけているのではないかと思います。

【武士末部会長】

民間からすれば、それは当たり前のことなのですが、それがこういう県の出資しているような団体では、少し経営感覚が欠如していたように思います。

【松本委員】

いい時代はそれで良かったので身につまされることもなかったのですが、今は自治体も倒産しますから。私はそういう状況の中で各法人がそれなりにきちっと頑張ってきたのではないかな、という感じがします。

【武士末部会長】

そうですね。ますます改革は進めていただかないといけないとは思いますが。

その他ご意見はございませんか。

【黒田委員】

この部会も5年経ちましたが、愛媛エフ・イー・ゼットのよう、これが始まって4期連続黒字を出しているのなら、もっと早く色々なことに取り組んでいたら良かったのと思います。それから、アイロットの土地も借地で、できればもっと早く買えばよかったと。

【武士末部会長】

我々の部会でも土地の購入について交渉できないのかという意見が当初からあったように思います。これは色々な経緯があって購入も難しかったのかも知れません。土地の取得については、適正な価格、坪単価で取得できたのでしょうか。

【事務局】

取得価格につきましては、約11億円で、1㎡で2万1千円ですから、坪単価7万円弱くらいです。

【黒田委員】

当初言っていた額に比べれば安くなったのですね。

【武士末部会長】

こういう厳しい財政事情ですから、我々の部会の意見もあって、少しは、土地購入を促進していただけたのではないかと思います。

他にご意見はございませんでしょうか。では、次の6法人について、事務局から説明をお願いします。

〔(財)えひめ産業振興財団、松山観光港ターミナル(株)、(公財)愛媛県動物園協会、南レク(株)、(財)愛媛県文化振興財団、(財)愛媛県スポーツ振興事業団〕

資料1により、事務局から説明

【武士末部会長】

以上の6法人について、何かご意見はございませんでしょうか。

愛媛県動物園協会につきましては、我々の評価が法人の自己評価よりも上回ったも

のになっておりますが、岡本委員いかがでしょうか。

【岡本委員】

特に普段のサービス提供がしっかりしているとともに、組織の運営もしっかりしているのだろうということが、動物園協会に関しては言えるのではないのでしょうか。

【武士末部会長】

やすらぎ、ゆとりなどを提供できる施設で、県民に有効な施設であると思いますので、今後も引き続き改善に取り組んでいただければと思います。

黒田委員は他に何かありませんでしょうか。

【黒田委員】

評価のチャート図を見ると、2次評価よりも自己評価の方が厳しいところが、安心して見ていられる所なのだと思います。逆に言えば、2次評価よりもはるかに自己評価が高い所が、やはり一番不安材料が多いのだなと、改めて感じております。

南レクに関しては、前も同じことを申し上げましたが、私は東予に住んでいまして、東予まであまり情報が流れて来ないということが問題だと思っています。色々な方法で皆さんに知っていただくようなことをすればいいかなと思っています。

【武士末部会長】

そうですね。前回も、もっと若い人の感覚でもっとPRできるのではないかというご意見がありました。宇和島までの高速道路が来年度できるということですし、南予の自然は全国的にPRできるものだとは個人的には感じますし、施設も活用していただきたいと思います。

【松本委員】

愛南町でグラスポートを出しているような施設は、南レクとは違うものですか。

【事務局】

あれは愛南町の事業で、南レクそのものの施設ではございません。周遊ルートとして南レクと合わせて行くことはできると思います。

【松本委員】

あの辺りに水族館ができればいいですね。

【武士末部会長】

それもまた設備投資のためのお金が相当いります。

【黒田委員】

色々な材料があるから、そこで観光のコースをいくつか作って、それを皆さんに見てもらふことはとても大事だと思います。ただ、点でここに行きましょうという具合では、なかなか人は動きません。例えばグラスポートを1日のコースに組み込むなど、観光のコースを作ることが必要だと思います。

【武士末部会長】

この間、テレビを見て感心したのが、観音寺市の路地裏食べ歩きチケットです。

【黒田委員】

私もすごいと思いました。

【武士末部会長】

お酒、えびせん等の4箇所のお店を、ワンコインの500円で回ることができるんで

す。素晴らしい取組みだと思いました。

【黒田委員】

私もあれは感心しました。1杯お酒持って、天ぷら屋に寄って、私も大好きなコースです。歩きながら地元の人と話しながら。とてもいいですね。

【武士末部会長】

路地裏でベンチに座ってね。温泉でも、手形で全部回れるとか。南レクもそういうふうなことができればいいのですが。

【松本委員】

それには南レクはちょっと広すぎるのではないのでしょうか。

【黒田委員】

ポイントを作らないといけないですね。

【武士末部会長】

多少離れていますが、四万十川なども、都会の人にとっては非常に魅力のあるものだと思います。

【松本委員】

あの辺りをぐるっと、県境も越えてコースにできればいいのではないのでしょうか。

【武士末部会長】

そういうプランを、若い人の斬新な感覚を取り入れて、せっかくですから施設を利用してもらえるようにしてほしいです。

【松本委員】

アイディアの公募とかはしていないのでしょうか。南レクの宣伝は、結構しているように私は感じます。

【黒田委員】

キャンプするから南レクに行くというのではなくて、キャンプする人が色々なイベントに参加できる、ただキャンプを張ってそこでご飯を食べて終わりというのではなくて、例えばカヌーに乗るだとか、半日でできるようなコースなどを作って提示すれば、キャンプにもかなりボリュームができて、行く方としても楽しみになってくると思います。子供連れで家族みんなが遊べて、海や山に触れることもできれば、教育面でも非常に充実してくるのではないかなと思います。

【事務局】

去年から、民間から募集して、未利用地の利用方策について検討を進めております。南レク公園の構想は、昭和40年代の高度経済成長の時代に打ち出されたもので、相当広い地域にわたって整備を行う計画であったため、面的に回遊性がないということ、また、移動に時間がかかってしまうということがあります。平成23年度中には、宇和島市津島町まで高速道路で行くことができるようになりますので、南予の観光振興イベントを開催して、南予に来ていただくような仕掛け作りを検討しています。特に、中予や東予などの足元から南予に来ていただけるような取組みを、是非行いたいと思っております。

【松本委員】

じっとしていても、何も生まれませんからね。

【黒田委員】

欧米では、サマースクールをやっていますよね。ああいう子供たちが自然の中で共同生活を行うようなこととか、スポーツの誘致を行う。それから、遊びがてんこ盛りになっていて、子供もいろんなことができるし、わざわざ南予まで行って非常にみんなが面白かった、というような材料を沢山コースにして用意しておく、本当に行く価値があると思います。

【武士末部会長】

せっかくの施設ですから、積極的に前向きにやってみる価値はあるのではないかと
いうご意見が多いように思います。

また、私の専門的な分野である会計については、非常に厳しい目で見ざるを得ない
のですが、今後とも土地や、特に子会社のサンパールの評価については、会計基準に
照らして、その評価を厳正にさせていただくよう注意していただければと思います。

あともう一つ、これはなかなか言いにくいところではあるのですが、文化振興財団
の「ひめぎんホール」です。この点検評価部会で発言するのが適切かどうかというの
はありますけれども、私自身は、やはり県民文化会館がネーミングライツで「ひめぎ
んホール」と命名されたことについて、色々なことを耳にします。このことにつきま
しても、次のステップの際にはご配慮いただいた方がいいのではなからうかと思いま
す。

【松本委員】

先日、ひめぎんホールで愛媛銀行主催の講演会があったのですが、ネーミングライ
ツのことを知らない人は、県民文化会館はひめぎんが建てたと思わなくもないかと心
に引っかかりました。

【武士末部会長】

県の方々にはなかなか分かりにくいところがあるかも知れませんが、民間ではいろ
いろな意見があるということで、我々も耳にします。

【松本委員】

県が建てた施設だということを常々どこかできちんとアピールしていただいて、そ
こだけは間違えないで欲しいと思います。

【武士末部会長】

岡本委員、何かありませんか。

【岡本委員】

文化振興財団はホールを管理するのが本来の財団の目的ではなくて、文化事業を行
うことが本来の目的ということなんですが、そこに派遣職員が携わるとするのは、今
後はもっと厳しく変える形にさせていただいた方がいいのかなと。本来の財団の存在目
的は文化事業にあるわけですから、それを財団自身が行っていないというのはちょっ
と困るなと思います。

【武士末部会長】

県はご配慮をいただければと思います。

<見直しの方向性が「経営改善を行いつつ存続」の10法人について>

(松山空港ビル(株)、(財)愛媛県廃棄物処理センター、(財)伊方原子力広報センター、愛媛県信用保証協会、(財)松山観光コンベンション協会)

資料1により、事務局から説明

【武士末部会長】

ただ今説明いただいた5法人につきまして、結構議論があったところもあったかと思いますが、ご意見等はございませんでしょうか。

【岡本委員】

廃棄物処理センターですが、微量PCB汚染物の処理が昨年7月から本格稼働していますが、例えばホームページを見ても、既にどれくらい処理をしたとか、何件くらい受け入れたとか、全く情報が開示されていません。当然、地域との関係もあるでしょうから、むしろそういうことを公開することは、まず最低限必要だと思います。

【武士末部会長】

その点どうでしょうか。処理状況について事務局で何か報告を受けていますか。

【事務局】

どのくらい処理したか法人事務局で把握できているかと思いますが、ご意見について、法人、担当部局に伝えておきます。

【岡本委員】

ぜひ財団自身から発信していただきたいと思います。

【武士末部会長】

今の時点で、ここについては自力での存続は無理だと我々は判断しております。

この部会では検討委員会の設置を提案したところでありますが、相当大きな問題です。債務超過は14億円ではありますが、借入金総額は40何億だったはずで、当然いろいろな部署で、いろいろ検討していただいているとは思いますが、やはり情報発信はしていただきませんか。黒田委員もいわれていましたが、せっかくの環境を大切にしていこうと、モデルケースとしてリードしていくべき施設ではないのだろうか。その兼合いですね。

【黒田委員】

微量PCB汚染物が高温処理できるということが大きな特徴として今後期待できるということですが、高温処理というのは1,100度とか1,200度だったですね。でもこの間、ある方から800度くらいあればできるということを知りました。部会長が今言われたように、せっかくの施設ですから、環境社会を考えると、あって欲しいという気持ちもあると言ったのですが、800度くらいで処理できるのなら、微量PCB汚染物を処理できるということが目玉となって存続できるのかな、というのが素人の考えですが。

【武士末部会長】

前回もこの点でいろんな意見が出ましたので、ぜひご認識いただきたい。

なお、このまま公益法人が何もしなければ自動的に解散になります。それは十分に

ご認識いただいていると思うのですが、そのところはきつく行政システム改革課、法人所管課においても指導いただけるように、十分検討いただければと。この2次評価のところでは、残念ながら非常に厳しく提言して注意を喚起したいと思います。

【事務局】

微量PCB汚染物を無害化して処理する施設としては、この廃棄物処理センターは去年6月に環境省から認定を受けましたが、今のところは全国でここだけです。どうしたら収支が改善されるのかということで微量PCBに活路を見出したもので、優位性はあるようです。

【黒田委員】

状況はよくわかりました。せっかくここまでお金を入れているんだから、置いて欲しいという気持ちは強く持っています。

【事務局】

「優位性があるから存続していきますよ」ということも含めて情報公開をする必要が当然あると思います。

【武士末部会長】

単年度で1億、2億の利益が出たとしても、特別立法でもできない限り、今の法律では解散にならざるを得ないという現状をどうするかという問題は別だと思いますので、クリアをお願いしたいと思います。我々、部会としては非常に厳しく言わざるを得ないと思います。

松山観光コンベンション協会については、どうするか方向性が分からない。妹尾委員も「松山だけの協会なんて意味があるのか」といったご意見ではないかと思いますが、いかがでしょう。

【妹尾委員】

部会長のご指摘のとおりでして、何故ここだけ愛媛ではなくて松山なのかがよく分からないということです。要するに、既存の観光関連の組織を発展的に統合などの形でやったらこういうことになったのだらうと思いますが、やはり公共的な目的を達成するという意味では、愛媛県全域に目配せをしたものでないと、恐らく定着しないのではないかと思います。

【武士末部会長】

都会から、いろいろな地方から愛媛に来られた時に、砥部焼きは松山ではない、坊ちゃん劇場も松山ではない、これではPRができない。では、そこは外して松山城と道後温泉だけ案内するのとか。松山も「四国は一つ」ということくらいの方がまだいいくらいだと思いますが、妹尾委員が言うように、セクショナリズムではなく、もっと広くやった方がいいというような意見が出るのではないかと思います。

【黒田委員】

松山空港ビルのことですが、私の記憶では、随分前から努力をされて黒字だったんだけれども、将来的な施設整備のため毎年、数千万円くらいが補填されていたと思うんですよ。やっとここに来て、それが他の黒字のためか「10億円の積立金を準備するなど」と書かれていますが、これは積立てもでき、黒字にもなりという上でも、やはり数千万円の補填は継続的に行われるのでしょうか。

【武士末部会長】

利子補給の関係で、当初からそういうご意見がありましたね。利子補給だったら空港ビルについては1千万円くらいでしょうか。

【事務局】

国際線ターミナルの建築費に係る償却の部分で利子補給しますということで、平成20年度が1115万円くらい、17年度で1680万円くらい、毎年遞減してきていたが、国際線経営が安定的になってきたことから20年度をもって廃止しました。

【黒田委員】

分かりました。

【武士末部会長】

それも県のお金ですからね。三セクと言えども一株式会社に出資しているというようなこと、黒字である以上は、というご意見もまた内部で検討いただきたい。

【事務局】

国際線ターミナル建設時に国から国内線経営を圧迫しないようにとの条件を付された経緯もあり、国際線を設けるのは空港ビルだけの責任ではなく官民一体で国際化の推進体制をとるということから、利子補給を行ったものです。

【武士末部会長】

こういう時代ですから、厳しい意見が当然出てくるので、そのあたりそういうことも十分配慮いただいて、そういうことでのディスクロズ、説明等情報発信をお願いできたらと思います。

それでは、最後に残りの5法人についてお願いします。

〔(財)愛媛県国際交流協会、(財)えひめ農林漁業担い手育成公社、(財)愛媛の森林基金、愛媛県農業信用基金協会、(公財)愛媛県暴力追放推進センター〕

資料1により、事務局から説明

【武士末部会長】

動物園協会と暴力追放推進センターが早くに公益財団法人に移行したことは喜ばしいと思います。なお、伊方原子力広報センターについても申請中ということで、これら3団体については取組みが評価できるのではないかと我々も感じているところでございますが、何かご意見ございませんでしょうか。

この5団体、特別大きな問題はなかったかと思いますが、その前の20団体も含めて、どうしてもこの部分だけは評価の言葉を総評のところに入れておいていただきたいというようなご意見は何かございませんか。

もしよろしければ、部会長一任ということで、私の方で言葉、表現について事務局と詰めたいと思うのですが、ご一任いただけますでしょうか。

(全委員 異議なし)

【武士末部会長】

それでは、そのようにさせていただきます。よろしく申し上げます。

時間も迫ってきております。最後に一番大事なところでございます、総括の審議を行いたいと思っておりますが、事務局から説明をお願いします。

資料2により、事務局から説明

【武士末部会長】

5ページの(3)の行の上のところですが、「対象法人に対してはできる限り早期移行を目指すよう、対応を促した」については、ちょっと表現が甘過ぎる。解散がそこに決まっているわけですからね。早急に具体的なアクションを起こして欲しい。定款変更とか、かなり時間を要する問題がございます。「できる限り早期移行を目指す」という表現では、ちょっと物足りないという気がいたします。確かに難しい問題ではありますが、とにかく早く取り組まないと、手続きに時間がかかります。県にいろんな申請書類を出していたらものすごい時間がかかります。そのこのところの表現方法を事務局で考えていただいて、もうちょっと厳しく対応いただければと思います。

各委員にもいろいろとご意見を賜ったところでありますが、最後に各委員の皆さんにお時間をいただいて、全般的にご意見を賜ってもよろしいでしょうか。それでは松本委員からお願いします。

【松本委員】

自分の会社は小さな会社ですが、「節約しろ節約しろ」という言葉の後には、「お金が貯まったら美味しいものを食べようね」とか、「旅行に行こうね」とか、必ず成果に対する希望のようなものを、言葉だけではなく、きちんと伝えてきました。そうしないと、「小遣いを減らすぞ。やらないぞ」ばかりでは、モチベーションが下がりっぱなしなので、どういう形ででもいいですから、「みんなでやるぞ。頑張るぞ」という元気を与えながら、叱っていきたいと思いました。

県の方たちは慣れないことに取り組んで、一生懸命やった跡が私の中では見えます。よくここまで、訳の分からないまま経営に対して考えてこられたことを評価したいと思います。

と言うのが、いろんな形で出先だとか本庁だとかでいろんな方たちと関わるのですが、やはり民間の私たちと乖離している部分があまにも多い。けれど、お一人お一人は本当にいい方ばかりで、このお仕事をさせていただいて本当に良かったと思っています。ぜひ、怒る時も優しさを持って叱って、いい方向に向かって行って欲しいと思います。

【武士末部会長】

ありがとうございました。それでは、黒田委員をお願いします。

【黒田委員】

5年と言ったら、長いのが一瞬だったような気もしますが、本当に何も情報がない中で、初めて来た時はどうしようかとうろたえたのを覚えています。

やはり、組織の中でやっている方は一生懸命やっていますが、それぞれの事情によ

ってままならないことが多々ありますが、各組織の中で、思いが強い人をそこに配属するというのが大事なことではないかなと思っています。抽象的な言い方ですが。ただ、それを維持管理するというだけでなく、やはりその組織に思いを持って改善していこうという強い気持ちのある人がそこにいないと、なかなか改革はできないのではないかなと思ったりもします。それはなかなか難しいことですが。

中では、もっともっと県民の人に知ってもらいたい法人もたくさんあるので、ぜひ周知の方も今後とも力を入れてやっていって欲しいと思います。

【武士末部会長】

ありがとうございました。続いて、私から意見を述べさせていただきます。

私はこの会があったからこそ公益法人について、より認識を深めなければならないと思って、自分なりに勉強しましたし、私は公認会計士協会四国会の会長として、去年初めて、愛媛県の会議室を借りて会計士協会四国会が主催、県が共催という、250名程度に参加いただいた研修会を開きました。徳島県と香川県でもやりました。そういうことができたこと自体、私はこの部会の座長をさせていただき、目的意識があったということで、いろいろな仕事がそれなりにできたのではないかと、それについては個人的に有難く思っております。

また、他のことでは、私は以前に松山市の外部監査もしたことがありますが、やはり民間と行政、自治体とは感覚にかなりのズレがある。その中でこういう委員に選んでいただいて、皆さんが忌憚のないご意見を出していただいたこと、そういう意見を反映させていただいて、埋めることができたのではなかろうかと自負しておりますし、この委員会も、忌憚のない意見を言わせていただいて、そういうようなリードをしてきたつもりでして、それができたこと非常に嬉しく思っております。みなさん、5年間ありがとうございました。

それでは、岡本委員お願いします。

【岡本委員】

出資法人というのは設立した側、県などの地方自治体だと思っておりますが、その存在意義と言うか、誰のためにあるのかと言うと、県民のためであったり、広く市民のためであったりということで、各出資法人は誰の顔を見て仕事をするのかということ、改めて考えて欲しいというように思っています。設立した時点では有意義な、意味のある法人だったけれども、やはり統合なり廃止なりという形で変わっていくのだろうと思います。自らのアイデンティティと言うか、自らの存在意義を自らちゃんとアピールして、何のために自分たちがいるのかということ積極的に自ら公開して欲しいと。私たちはこういう仕事をしていますよと、皆さんのためにやっていますよということ、自ら発信できるようになって欲しいなというように考えております。ありがとうございました。

【武士末部会長】

ありがとうございました。それでは、妹尾委員お願いします。

【妹尾委員】

そもそも出資法人それ自体の存在理由そのものが、県民目線から見てどこまで受け入れられるのかどうか。それから、ここ20年ほどですね、うちの大学で地方自治法

という、通年4単位の科目を担当してありまして、地方自治法上、都道府県だけではなくていわゆる自治体が、道路公社であるとか、住宅供給公社であるとか、あるいは土地開発公社であるとかを置かなければならないような、そういう前提で講義をしていたような気がするんですね。それが大きく様変わりしていますよということを授業で言うこと自体、非常に時代が変わったなと、状況が変化したなと思っております。

したがって、昨日の常識は今日の非常識になりつつある現今、いろんな意味で勉強させていただきまし、**「こんなお金かけてこんな」**というのが、正直偽らざるものが多々あったと思います。いずれにしましても、これを一つの契機として、都道府県の中で何番目というような言い方をされる時に、我が愛媛県が改革の度合いからいって上位に位置づけられるような改革の成果というものを見せていただければと思います。大変ありがとうございました。

【武士末部会長】

ありがとうございました。以上、各委員から思いを込めてご発言いただきました。その趣旨を十分汲み取っていただいて取り組んでいただければと思います。以上をもちまして議事を終了したいと思います。

(2) その他

今後の予定について、事務局から説明

・総務部長あいさつ

《 閉 会 》